教育福祉会館における人材育成講座企画案　①

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 「親子ルームサポートボランティア養成講座」(全2回) |
| 目的 | 親子の見守り、母親同士のつながり作り、遊びを提供するボランティ  アを養成することにより、下記の場作りを目的とする  ・子育て世代の交流促進  ・シニア世代等の社会参加の促進  ・多世代交流機会の創出 |
| 内容 | 裏面の通り |
| 開催日時 | 1日目：令和３年２月８日(月)午前１０時００分から正午まで  2日目：令和3年2月１５日(月)午前１０時００分から正午まで |
| 開催場所 | 教育福祉会館　２階　多世代交流スペース１・２ |
| 対象 | 子ども・子育て支援やボランティア活動に興味のある方　２０名 |
| 連携・協力 | 認定こども園くるみこども園  柏市役所こども部子育て支援課  柏市こども図書館  子育て支援センター又は地域子育て支援拠点職員  ボランティアセンター職員 |
| 広報・周知 | 広報かしわ１月１５日号・教育福祉会館ＨＰ |
| 申込受付 | メール又FAX、ＴＥＬにてボランティアセンターが窓口  令和３年１月１５日(金)から１月２９日(金)まで |
| その他 | ・全2回の養成講座に参加された方に修了証を発行  ・活動を希望される方は、ボランティア登録をする |

【実施内容】(案)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1日目** | 内容 | 備考 |
| 開会 | ・挨拶  ・教育福祉会館及び「親子ルーム」について | 10分 |
| 講話 | ・子育て支援とは？  ・子育て支援の必要性  ・今と昔の育児の違い  ・子どもの発達について(0歳から3歳まで)  ・子育て支援センター「くるみサロン」について  　例）＊活動内容  　　　＊親子が喜ぶ関りやイベント　等  ・子育て支援者として大事したいこと | 60分 |
| ワークショップ | ・参加者同士の交流  例）＊自己紹介  ＊参加動機  ＊ボランティア活動歴や保育等の経験歴　等  ・グループワーク(テーマを決めて意見交換)  例）＊子どもや子育て家庭にどんな応援ができるか | 40分 |
| 閉会 | ・まとめ  ・次回の案内  ・挨拶 | 10分 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **２日目** | 内容 | 備考 |
| 開会 | ・挨拶  ・前回の振り返り | １０分 |
| 講話 | ・現場スタッフからの活動について  例）＊利用の多い年齢層  　　＊今どきの親子(子育て)について  　　　・子育て家庭の多様性、子育て感等  　　＊スタッフの心構え  　　　・声掛けの仕方、対応、子育て支援情報や  相談窓口の連携先等 | ２０分 |
| ワークショップ | ・０∼３歳くらいの親子が楽しめる遊び、読み聞かせ紹介と実践  例）＊手遊び  　　＊わらべ歌  　　＊体操  　　＊絵本の読み聞かせ | 60分 |
| 講話 | ・ボランティア活動について  ・今後の活動について  ・活動登録 | ２０分 |
| 閉会 | ・修了証の授与  ・挨拶 | １０分 |

教育福祉会館における人材育成講座企画案　②

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | テーブルゲーム交流マイスター養成講座 |
| 目的 | 子どもを対象に囲碁や将棋などを教えたり、対戦などの機会を提供したり、テーブルゲームを通じた交流を促進するボランティアを養成する |
| 概　　　要 | こどものボードゲームの日に一緒に交流できる心構えの講話と参加者との意見交換をする |
| 主な対象 | 囲碁・将棋のサークル団体に所属する方、テーブルゲームを通じた交流活動に関心のある方　２０名 |
| 開　催　日 | ※希望する曜日や時間帯などを記載  令和３年２月１８日（木）午前１０時００分から正午 |
| 場　　　所 | 教育福祉会館　２階　多世代交流スペース１・２ |
| 具体的内容 | 裏面のとおり |
| 広　　　報 | 広報かしわ２月１日号・教育福祉会館ＨＰ |
| 想定成果 | 「こどもボードゲームの日」に受講者のマイスター(主に高齢者)が、主に子どもたちへの体験の場を提供できるようにする |

【実施内容】(案)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| プログラム | 内容 | 備考 |
| 開会 | ・挨拶  ・教育福祉会館について  　（目的・参加に対する謝辞、参加することの  意義や期待等） | １０分 |
| 講話 | ・多世代交流の秘訣  　例）＊子どもの理解(子どもの権利)  　　　＊遊び、交流事例  　　　＊心構え | ３０分 |
| ワークショップ | ・参加者同士の交流  （5人１組に分かれて交流できるようにする）  例）＊自己紹介  ＊お住いの地区  ＊参加動機  ・グループディスカッション  例）テーマ「子どもの頃を思い出してみよう」  　　＊どんな遊びをしていたか  　　＊どんな気持ちだったか  　　＊地域の大人とはどんな関わりがあったか  ・共有 | ４０分 |
| 講話 | ・ボランティア活動について  ・今後の活動について  ・活動登録 | ３０分 |
| 閉会 | ・修了証の授与  ・挨拶 | １０分 |

※コロナ禍の為、受付時に手指消毒・検温・健康状態の確認を徹底する。

　又ワークショップでも3密、ソーシャルディスタンスに配慮する。

教育福祉会館における人材育成講座企画案　③

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 若者の居場所サポートボランティア養成講座 |
| 目的 | 夕方以降に多世代交流スペースを中高生の居場所として提供する際、その場の見守りや必要に応じた声かけをするボランティアを養成する |
| 概　　　要 | 中高生世代の現状について講話と参加者との意見交換をする |
| 主な対象 | 中高生の居場所支援に関心のある方　２０名 |
| 開　催　日 | ※希望する曜日や時間帯などを記載  令和３年２月２６日（金）午後６時００分から午後8時00分 |
| 場　　　所 | 教育福祉会館　２階　多世代交流スペース１・２ |
| 具体的内容 | 裏面のとおり |
| 広　　　報 | 広報かしわ２月１日号・教育福祉会館ＨＰ |
| 想定成果 | 他世代の相互理解と多世代交流の促進 |

【実施内容】(案)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| プログラム | 内容 | 備考 |
| 開会 | ・挨拶  ・教育福祉会館について  　（目的・参加することの意義や期待等） | １０分 |
| 講話 | ・中高生世代の現状  　例）＊青少年の理解(子どもの権利)  　　　＊関わる上での心構え | ３０分 |
| ワークショップ | ・参加者同士の交流  （5人１組に分かれて交流できるようにする）  例）＊自己紹介  ＊お住いの地区  ＊参加動機  ・グループディスカッション  例）テーマ「子どもの頃を思い出してみよう」  　　＊どんな気持ちだったか  　　＊地域の大人とはどんな関わりがあったか  ・共有 | ４０分 |
| 講話 | ・ボランティア活動について  ・今後の活動について  ・活動登録 | ３０分 |
| 閉会 | ・挨拶 | １０分 |

※コロナ禍の為、受付時に手指消毒・検温・健康状態の確認を徹底する。

　又ワークショップでも3密、ソーシャルディスタンスに配慮する。